

セカンドステップ

No. 2

発行日：令和6年1月16日

発行：北海道教育庁オホーツク教育局

教育支援課義務教育指導班

中学校第3学年国語

北見市立高栄中学校

単元名：自らの考えを『人工知能との未来/人間と人工知能と創造性』【C読むこと】

単元の目標・単元の指導計画

- (1) 情報の信憑性の確かめ方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ
- (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ
- (3) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝えようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

時間	学習テーマ	学習活動
1	単元開き 批判的に文章を読むとは	・単元を貫く問いを設定する。 ・詐欺文や根拠が曖昧な文章を読み、批判的に読む方法について理解する。
2	A Iをどう扱うか	・情報の信頼性や客観性を確かめる。 ・それぞれの文章の要旨をまとめる。
3	A Iとどう生きるか	・「A Iとどのように共生していくべきか」について、筆者の考えまとめるため、読み観点を決め 比較・分類 する。
4	まとめ	・これまでの学習を踏まえ、自分自身がどのようにA Iと向き合うかを考える。

<本時の目標>

文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。

<授業の流れ>

- 課題の設定
「どのような根拠から筆者はA Iとの関わり方を提案しているか」
- 個人で読む観点を決め、筆者の考えを比較

効果的な活用

端末を活用することで、自分の考えが整理しやすく、**比較・分類**が容易にできる。

自分で決めた観点に沿って自分なりの考えを整理できるよう、アプリを活用し、教科書にある叙述を基に自分の考えを書き出している。

- 整理した考えをグループで共有
- 共有したことを基に、筆者の考え方を比較・分類

効果的な活用

端末を活用することで、自分の考えと他者の考えを容易に**比較**でき、学びが深まる。

他者の考えを閲覧し、自分の考えを見直している。

- 学習を通して学んだことを振り返りシートに記入

管内では、国語科において、**自分の考えを表現する力**に課題が見られることから、ICTを効果的に活用して自分の考えを整理したり互いに考えを共有したりする場面を意図的・計画的に位置付けることが大切です。

文章作成ソフトに整理した考えを交流しながら、気付いたことをコメント機能を活用し、入力している。

